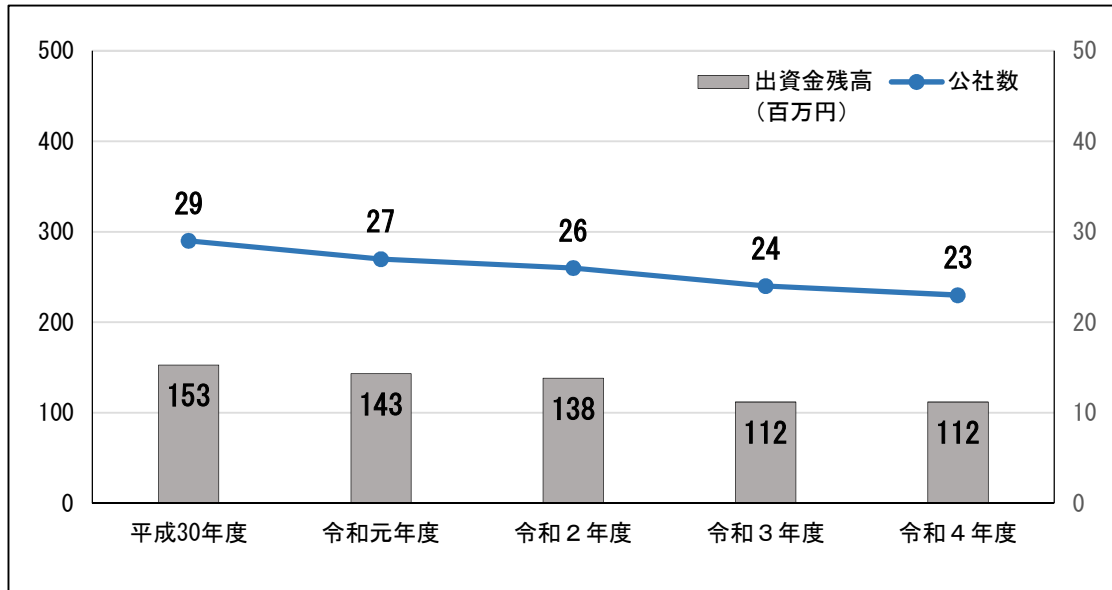


V 土地開発公社の状況

1 土地開発公社の概況

土地開発公社の数（令和5年3月31日現在）

土地開発公社の数は減少傾向にあり、令和4年度末では、前年度に比べて1公社（三笠市土地開発公社）が減少し、23公社となった。また、出資金残高は前年度と同額の、1億12百万円となった。



2 土地開発公社の経営状況

(1) 決算の状況

令和4年度決算において、経常収支が赤字となった公社の数は前年度に比べて2公社増加し、11公社となった。

また、負債が資産を上回るいわゆる債務超過となっているのは、前年度と同様、1公社のみとなった。

		公社数			割合 (%)	
		R4年度	R3年度	増減	R4年度	R3年度
経常収支の状況	黒字	12	15	▲ 3	52.2	62.5
	赤字	11	9	2	47.8	37.5
資産の状況	資産 > 負債	22	23	▲ 1	95.7	95.8
	資産 < 負債	1	1	0	4.3	4.2

(2) 保有土地の状況

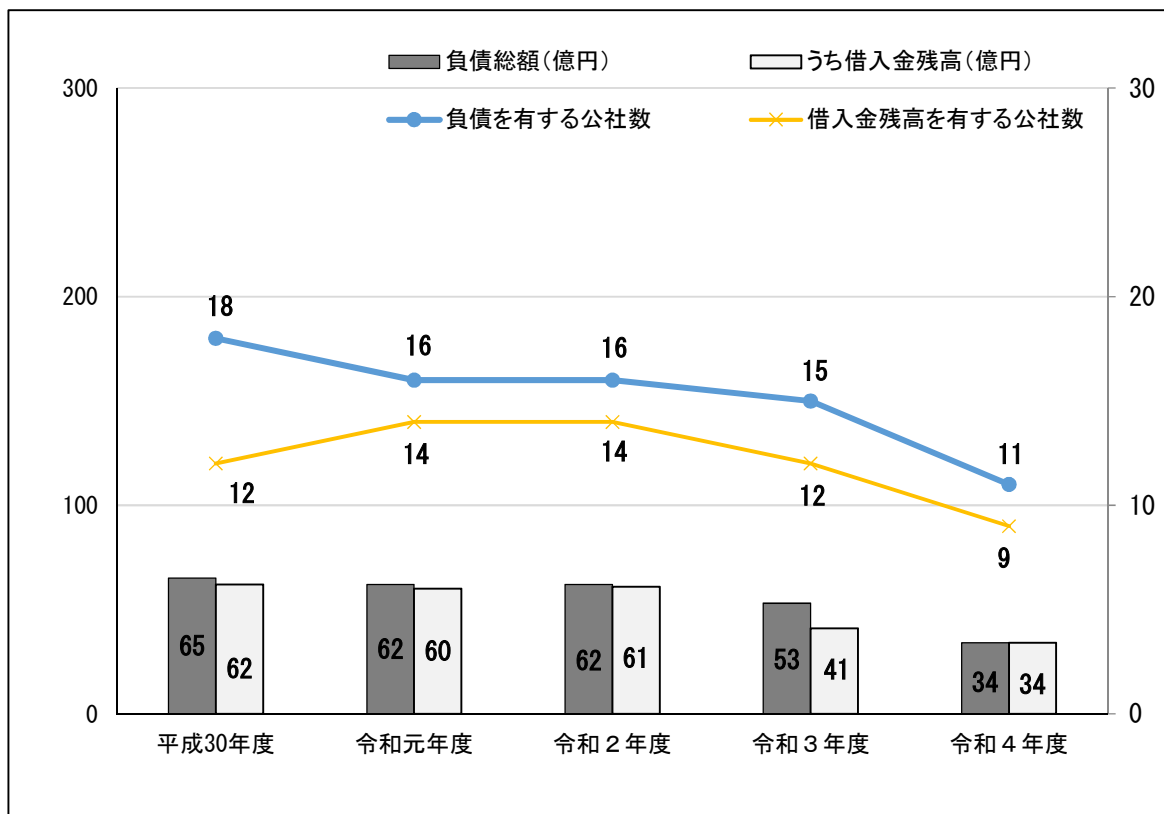
令和4年度末に保有する土地については、前年度に比べ面積ベースでは10ha減少し、66haとなり、金額ベースでは、6億87百万円減少し、33億2百万円となった。
また、取得から5年以上経過している長期保有土地は、面積ベースで51ha（全体の76.8%）、金額ベースで29億26百万円（全体の88.6%）となった。

	保有土地の面積 (ha)			保有土地価額 (百万円)		
	R4年度	R3年度	増減	R4年度	R3年度	増減
市町村等の依頼に基づき公共用として先行取得した土地	25	32	▲ 7	1,246	1,565	▲ 319
住宅用地・工業団地等の事業用地	41	44	▲ 3	2,056	2,424	▲ 368
保有土地計	66	76	▲ 10	3,302	3,989	▲ 687
うち5年以上保有土地	51	67	▲ 16	2,926	3,570	▲ 644
5年以上保有土地の割合 (%)	76.8	88.2	—	88.6	89.5	—

※ 各項目ごとに端数処理をしているため、内訳が一致しない場合がある。

(3) 負債の状況

令和4年度末に負債を有するのは11公社（全体の47.8%）であり、そのうち借入金残高を有するのは9公社（全体の39.1%）となった。
負債総額は、公社の解散等に伴い年々減少しており、前年度から19億円減の34億円となり、借入金残高も同額の34億円となった。



(4) 設立地方公共団体からの財政的支援の状況

令和4年度末における設立市町村から土地開発公社への貸付金残高は、2公社に1億55百万円、補助金交付額は、1公社に対し、3百万円となった。

また、設立市町村以外からの借入金残高のある7公社に対し、設立市町村が債務保証又は損失補償を行っており、その額は令和4年度末で31億2百万円となった。

	公社数			年度末残高(百万円)		
	R4年度	R3年度	増減	R4年度	R3年度	増減
貸付金残高	2	4	▲ 2	155	408	▲ 253
補助金交付額	1	2	▲ 1	3	6	▲ 3
借入金残高のうち地方公共団体による債務保証等残高	7	8	▲ 1	3,102	3,536	▲ 434

※ 各項目ごとに端数処理をしているため、内訳が一致しない場合がある。

○ 土地開発公社への債務保証等残高の状況

(単位：千円)

市町村名	債務保証等債務残高				
	令和4年度末	標準財政規模 に対する割合(%)	令和3年度末	増減	
函館市	1,403,702	2.0	1,481,350	▲ 77,648	
北見市	70,441	0.2	0	70,441	
網走市	0	0.0	32,000	▲ 32,000	
留萌市	12,000	0.2	75,000	▲ 63,000	
砂川市	829,000	11.5	892,820	▲ 63,820	
鷹栖町	95,247	2.8	155,997	▲ 60,750	
当麻町	72,000	2.0	159,369	▲ 87,369	
音更町	0	0.0	9,000	▲ 9,000	
幕別町	620,000	6.2	730,000	▲ 110,000	
合計	債務残高	3,102,390	-	3,535,536	▲ 433,146
	公社数	7	-	8	▲ 1